

TOSTEM トステム株式会社 **高断熱アルミサッシ サーマルII テラスドア・勝手口ドア(枠) 取付け説明書**

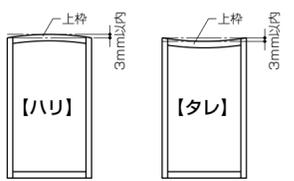
■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願い

- 必ず指定のスクリーナー釘・木ねじで枠を固定してください。
- 上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
- 縦枠は必ず垂直に取り付けてください。
- 本体は枠を躯体に固定した後、つり込んでください。
- 本体のつり込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- 横引き収納網戸を取り付ける場合は、額縁を枠端部から必ず20mm以内に納めてください。横引き収納網戸が取り付けられなくなります。(参考納まり図/横断面図参照)

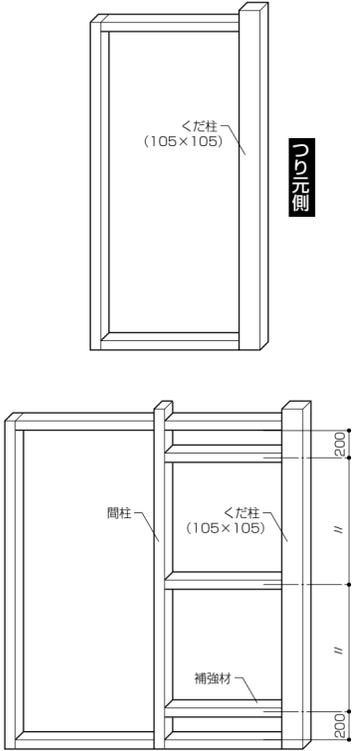


■取付け順序

1 躯体の確認と補強

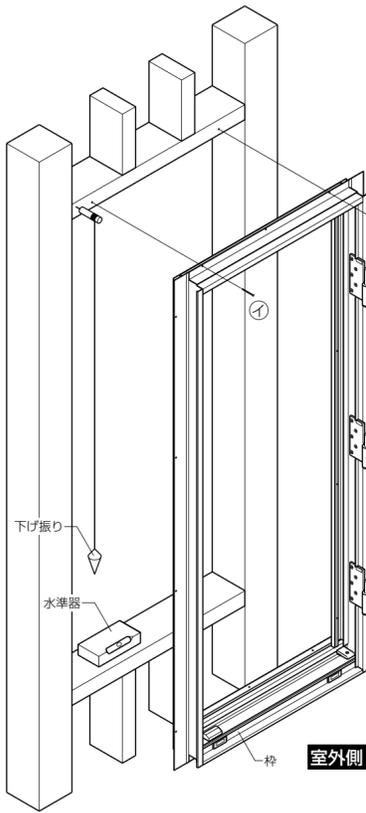
▲注意

●つり元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取り付けてください。やむを得ず間柱に取り付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁(30×90)を入れてください。



2 枠の仮止め

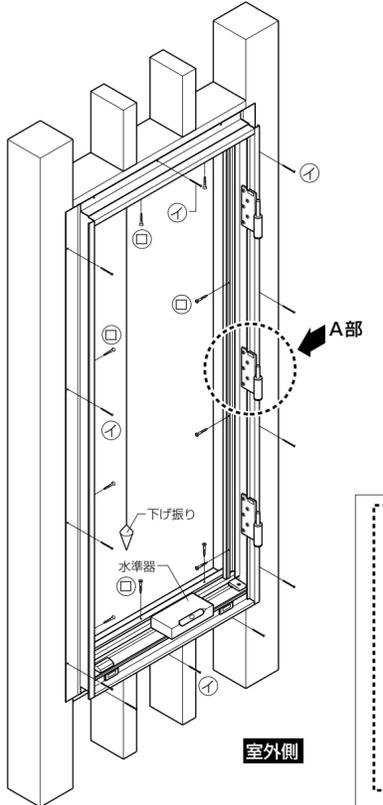
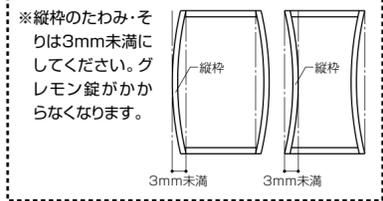
●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めます。



▲注意
●枠の水平・垂直を正確に出して取り付けてください。

3 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。
※縦枠は、必ず垂直に取り付けてください。(開閉障害・透き間が生じるおそれがあります。)



▲注意

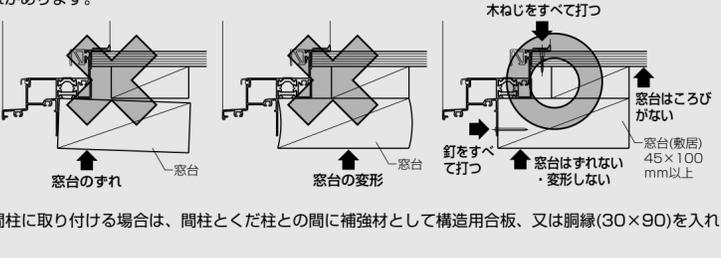
下記項目を厳守してください。

サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下や、風のおおり等による枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良・本体落下の原因となるおそれがあります。

●本製品の重量は最大50kgになります。必ず45×100mm以上の窓台(敷居)で必ず開口部を作ってください。

●つり元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取り付けてください。やむを得ず間柱に取り付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁(30×90)を入れてください。

●丁番補強アングルは、指定の角度に指定のねじで躯体に固定してください。
●本体の重量は最大40kgになります。運搬は、対応する人数で行ってください。

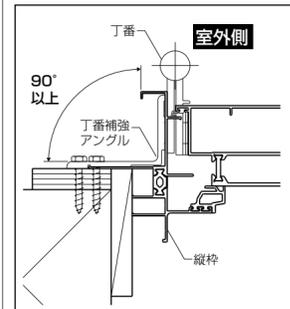


■取付けねじ一覧表

①	φ2.1×25スクリーナー釘	
②	φ3.5×20皿木ねじ	
③	φ5×50十字穴付き六角タッピンねじ	

4 丁番補強アングルの固定

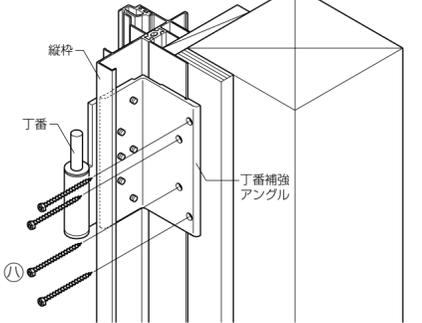
①丁番補強アングル取付け位置に、下穴(φ4.5)をあけて固定します。
※下図の部分の角度を、必ず90°以上にしてください。丁番同士が当たり、ドアが閉まらなくなります。



▲注意

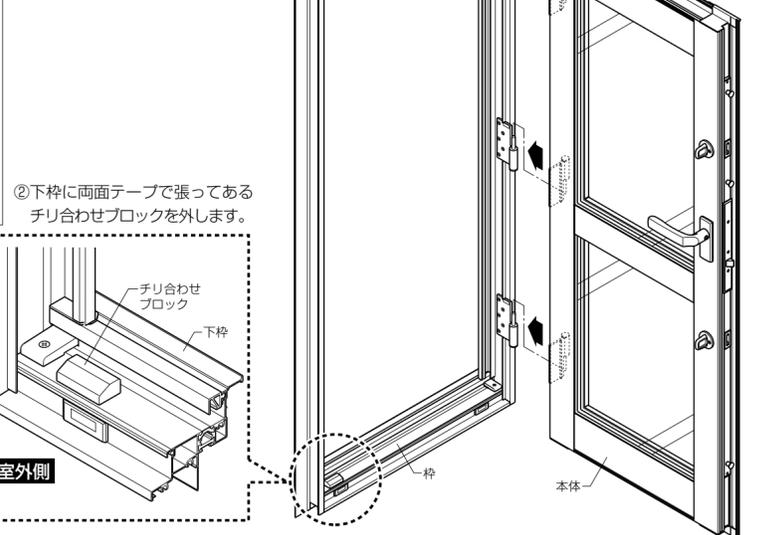
●丁番補強アングルは、指定の角度に指定のねじで躯体に固定してください。

■A部矢視図



5 本体のつり込み

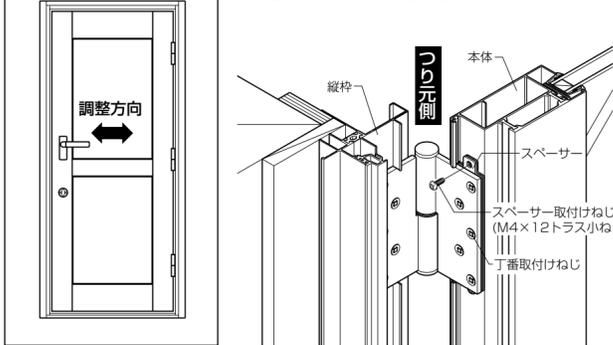
①ドアを90°以上開き、番号の順につり込みます。
※丁番はH66以下の場合には2枚、在来工法でH66より大きい場合は3枚付いています。



■建付け調整……ここで説明する建付け調整は、枠を取り付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

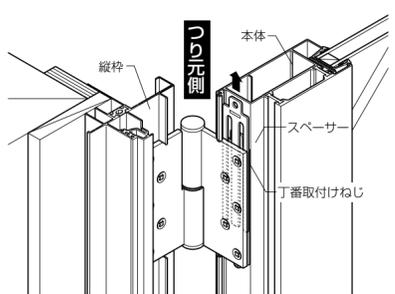
■左右方向の調整

※スペーサーはあらかじめ本体に取り付けてあります。
①スペーサー取付けねじを外します。
②丁番取付けねじ(5本)をゆるめます。

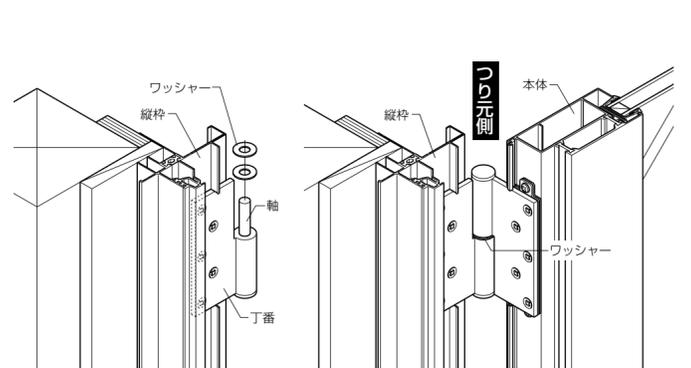


■上方方向の調整

③スペーサーを引き抜いて外します。
④丁番取付けねじを締め付けます。
※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm、本体がつり元側へ寄ります。
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



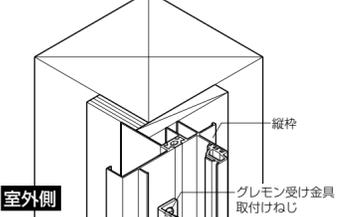
●本体を枠から外し、丁番の軸にワッシャー(丁番に同梱)を入れます。
※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm本体が上がります。



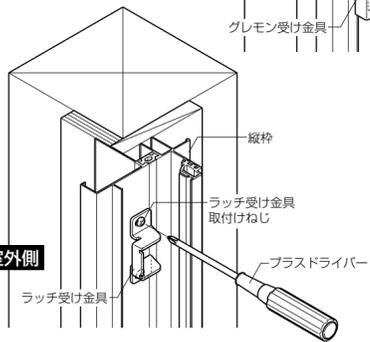
■グレモン・ラッチ受け金具の調整

●グレモン・ラッチの掛かりがきつい場合は、グレモン・ラッチ受け金具取付けねじをゆるめて位置を調整します。

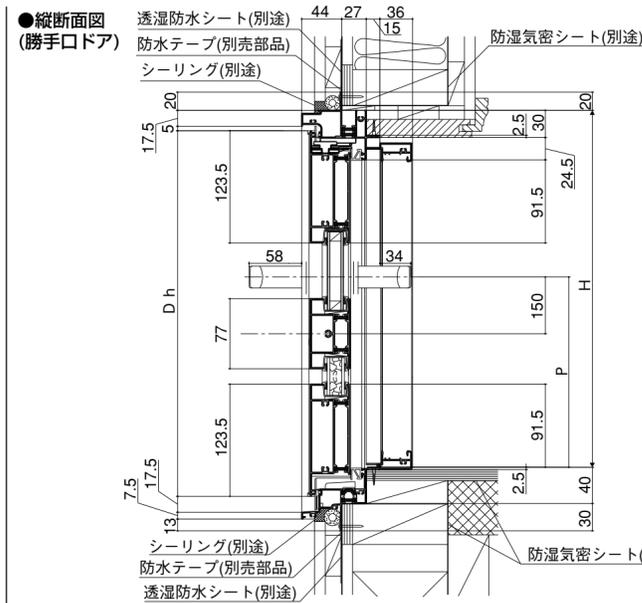
【グレモン受け金具】



【ラッチ受け金具】



■参考納まり図 (在来工法)



●横断面図

